

創立 70 周年

2020 年 5 月 21 日 (木)

校長 田沢 幸夫

5 月 24 日は、大阪星光学院の創立記念日で、今年は創立 70 周年を迎えます。1950 年、戦争の傷跡がまだ残る上町台地、夕陽丘の地に、本校が誕生しました。創立者のマルジャリア神父は、イタリア人の宣教師で、1926 年の来日以来、大阪にサレジオ会の学校をつくることを夢見ていました。戦時中は、多くの苦難を体験します。イタリアが降伏すると、彼はスパイ容疑で名古屋郊外に抑留されました。約 2 年間の軟禁生活は、マルジャリア神父にとって試練の時でした。

大阪は、1945 年 3 月の空襲で焼け野原になりました。夕陽丘も瓦礫の山でした。終戦を迎え、途方にくれて焦土に立ちつくす人々を目の前にして、マルジャリア神父は決意します。将来を背負って立つ青少年の教育こそが日本の再興を可能にする。ドン・ボスコの遺志を継いで、学校をつくることを決意したのです。そのため、彼はアメリカに渡り、開校の計画とその意義を訴えてまわり、各地で人々から多くの寄付を得ました。マルジャリア神父の熱意と、それに共鳴した人々の志に支えられて、大阪星光学院が誕生したのです。建物は、戦後初の本格的鉄筋校舎ということで、注目をあびました。最初は 116 名の中学 1 年生だけで始まりました。初代校長になったマルジャリア神父は、「おあずかりした生徒には、キリスト教精神と自由、平和の思想を植え付けたいと思っている」と語っています。

ところで、創立記念日の 5 月 24 日は、扶助者聖母マリアの祝日です。ドン・ボスコは、何か新しいことを始めるとき、いつも聖母マリアの助けを願っていました。世界のすべてのサレジアン・ファミリーの学校は、聖母マリアのご保護のもとに創立されているのです。ドン・ボスコは、聖母マリアを「助けてくださる方」という意味で、「扶助者聖母」と呼んでいます。創立 70 周年を迎える私たちも、聖母の助けを祈りながら、マルジャリア神父が望んでいたような人間に成長できるように、日々の努力を続けたいと思います。